

資料 2

基本構想（案）に対する委員意見一覧（第 2 回長計審後）

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 3 I 将来都市像			
小池	『未来のために』 ～やさしさでつながるまち ～ 習志野	『 明日（あす）に向けて 』 ～やさしさでつながるまち～ 習志野	未来のために ～みんながやさしさで つながるまち～ 習志野 としました。
鯨井	『未来のために』 ～やさしさでつながるまち ～ 習志野	『 未来に向かって 』 ～やさしさでつながるまち～ 習志野	
伊藤	（スローガンにそったまちづくりの方向性に厚みを増す政策を記載すべきと思う。 （将来都市像をもう一度考え直した方がいいと思う。）		

P 3 I 将来都市像 前文			
鯨井	本市は市制施行以来、	習志野市 は市制施行以来、	修正しました。
鯨井	大きな変化の局面を迎えて おります。	大きな変化の局面を迎えて いま す。	後段と文章をつなげて 修正しました。
小池	適切な重点課題を掲げた取 り組み	重点的に取り組むべき課題を適切 に掲げ、その実現を目指していく こと	修正しました。
鯨井	最適な行政サービスを持続 的・安定的に提供するととも に、市民・市民活動団体・企 業・学校等と市が更にその絆 を深め、相互理解の上で責任 を担い連携し合う、協働によ る自主自立のまちづくりを 推進する必要があります。	最適な行政サービスを持続的・安 定的に提供 され、 市民・市民活動 団体・企業・学校等と市 の絆が更 に深まり、 相互理解の上で責任を 担い連携し合う、協働による自主 自立のまちづくり が求められま す。	文章の構成を 変更しました。
伊藤	（最初の行から最後の段落の内容があまりにも重なっていない。 少し文章に連続性がないと思う。）		全体的に 変更しました。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 3 I 将来都市像 未来のために			
小池	将来世代にわたり	将来に <u>わたって</u>	修正しました。
小池	過去から先人の知恵と努力により築かれたもので、	<u>一方で</u> 、過去から先人の知恵と努力により築かれたもので <u>もあり</u> 、	文章の構成を変更しました。
小池	様々な施策は、市民生活を維持するものであるとともに、	様々な施策は、 <u>現在の</u> 市民生活を維持するものであるとともに、	文章全体を変更しました。
小池	将来世代の市民とも負担を分かち合うものであることから、	将来世代の市民にも <u>効果を及ぼす</u> ことから、	文章全体を変更しました。
小池	その負担を考慮し、	<u>世代間の</u> 負担を考慮し、	修正しました。
小池	豊かさを受け継ぎ、	豊かさを <u>引き継ぎ</u> 、	修正しました。
小池	発展させ「未来のために」施策を展開していきます。	発展させ <u>ていくために</u> 、「 <u>明日（あす）に向けて</u> 」 <u>各種</u> 施策を展開していきます。	文章全体を変更しました。
伊藤	（２段落目、何を言いたいのか表現がわかりにくい。真意を教えて欲しい。） （最後の段落、その前の段との連続性が薄い、上段の文章に厚みが欲しい。）		文章全体を変更しました。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 4 I 将来都市像 やさしさでつながる			
小池	生活が便利になる一方で、それぞれの多様化が進む	生活が便利になる一方で、 (削除) 多様化が進む	全体的に修正しました。
鯨井	現代社会の中においては、	現代社会 (削除) においては、	構成を変更し、修正しました。
鯨井	豊かな生活を送っていくために、	豊かな生活を 送るために 、	修正しました。
小池	社会の調和や平和への願いを	社会 と の調和 を実現し 、平和への願いを	「社会との調和と平和への願いを」として修正しました。
小池	将来世代へ豊かさを受け継いで行くためには、	将来世代へ豊かさを 引き継いでい くためには、	修正しました。
小池	思いやりに溢れるまちを目指します。	思いやりに溢れるまち になること を目指します。	文言を追加し、修正しました。
伊藤	（文章に説得力、訴えかけるものがなさすぎると思う。）		全体的に修正しました。

P 5 II—1 人口指標に対する考え方			
伊藤	（最後の段落が雑駁すぎると思う。しっかりと目的・意義を明文化しないと市民はわからないのではないか。）		文章を追加しました。

P 5 II—2 都市空間づくりの考え方 1. 混在しない土地利用と地域的特性			
鯨井	海岸や干潟、台地等の地形的条件を持ち	海岸や干潟、台地等の地形的 特性 を持ち	修正しました。
小池	既に宅地化が進みつつある区域と作物を生産している農地とが存在しています。	既に宅地化が進みつつある区域と作物を生産している農地とが 混在 しています。	修正しました。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 6 II—2 都市空間づくりの考え方 2. 特徴ある拠点の充実			
小池	、豊かな地域資源が	、 <u>個性</u> 豊かな地域資源が	修正しました。
鯨井	、豊かな地域資源が散在しています。	、豊かな地域資源が <u>存在</u> しています。	修正しました。

P 6 II—2 都市空間づくりの考え方 3. 自然との共生空間			
鯨井	昔からの自然があるとともに、	昔からの自然（ <u>削除</u> ）とともに、	修正しました。
小池	緑と水の南北軸と位置付け、	緑と水の南北軸と位置付け <u>られ</u> 、	修正しました。
伊藤	（最後の段落、これら緑の拠点を～「緑のネットワーク」の形成を目指す。とあるが、どういうことを表現したいのか？狙いをわかりやすく説明していただきたい。）		「緑の基本計画」での定義です。 市内に点在する公園や緑地を確保して、移動型のレクリエーションや相互の可能性を利用可能にすることです。

P 7 III 基本構想の体系			
鯨井	にぎわいを創出する 地域経済・産業の振興	にぎわいと <u>活力</u> を創出する 地域経済・産業の振興	修正しました。

P 8 III—1 標題			
小池	将来都市像を実現する3つの目標	将来都市像を実現する <u>ための</u> 3つの目標	修正しました。

P 8 第1章 前文			
伊藤	（3段落目、「まちの健康とは～」に、「雇用の創出」「就労機会の充実」が市民の幸せ、心の健康につながる重要性を明文化することが望ましいのではないか。		若干具体性を持たせた文章に修正しました。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 8 第 1 章 第 1 節「誰もが健康な心と身体を維持できる保健・医療・福祉の充実」			
鯨井	健康を支える国民皆保険制度を維持すべく、	健康を支える国民皆保険制度を維持するために、	修正しました。
伊藤	（市民会議で掲げられた「公園における健康器具の設置」「スポーツ施設整備」更には「特定健診受診」の向上もこの項に記載すべきと思う。）		原文のまま。 基本計画や実施計画での記述を検討します。

P 9 第 1 章 第 2 節「にぎわいを創出する地域経済・産業の振興」			
鯨井	経営革新や安定経営のための	経営革新や経営安定のための	修正しました。
小池	各種操業支援策に取り組み、	各種（削除）支援策に取り組み、	修正しました。
鯨井	利便性の高い流通経路や	（どういう意味で使っているか。道路網等か、取引に関する流れか。）	全体的に修正。 道路網等の交通環境を指します。
小池	良好な操業環境の保持を進め、	良好な事業環境の保持を進め、	原文のまま。 現行計画、産業振興計画で使用しており、前後の文章は修正しました。
鯨井	工業業績の場としての魅力を創出し、	工業業績の場としての魅力を創出するとともに、	修正しました。
小池	定着施策と	施策定着と	全体的に修正しました。
小池	「住んでよし」から「訪れてよし」のまちづくり観光を目指した	「住んでよし」から「訪れてよし」（削除）を目指した	全体的に修正しました。 また、「住んでよし～まちづくり観光」のフレーズは、観光振興プランでの標語となっているため、そのままとします。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 1 0 第 2 章 前文			
小池	行政の責務であるとともに、市民自らも自身の安全や財産を守り、また地域でお互いに助け合いながら支えることを市民の責務とし、	行政の責務 <u>であり、一方で</u> 市民自らも自身の安全や財産を守り、また地域でお互いに助け合いながら支えることを（ <u>削除</u> ）責務と <u>するなかで、</u>	全体的に修正しました。
鯨井	また地域でお互いに助け合いながら支えることを	また地域でお互いに助け合い <u>支え合う</u> ことを	修正しました。
鯨井	市街地の整備や道路、交通、下水道、ガス・水道といった「暮らしを支える～	市街地の整備や道路、交通、下水道、ガス・水道 <u>等</u> の「暮らしを支える～	修正しました。
鯨井	地球規模で考える温暖化対策や、自然の保護、公園の整備等といった「自然と調和する～	地球規模で考える温暖化対策や、自然の保護、公園の整備等 <u>の</u> 「自然と調和する～	修正しました。

P 1 0 第 2 章 第 1 節「ともに安心を築く危機管理・安全対策の推進」			
伊藤	（市民会議で掲げられた「小児救急・夜間救急」の体制強化や「病院搬送時間全国一位」といったように、具体的に明記したほうがいいのではないか。） （市庁舎建設・旧市庁舎解体、なぜ触れていないのか。） （防犯対策として、街灯設置の拡充も謳ってよいのではないか。）		原文のまま。 基本計画や実施計画での記述を検討します。

P 1 0 第 2 章 第 2 節「暮らしを支える都市基盤の整備」			
小池	住みやすさや、操業しやすさなど、	住みやすさや、 <u>事業展開</u> のしやすさなどの <u>向上を目指して、</u>	修正しました。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 1 1 第 2 章 第 2 節「暮らしを支える都市基盤の整備」			
小池	道路・橋梁に対する老朽化の対応を図ります。	道路・橋梁の老朽化への対応を図ります。	修正しました。
小池	高齢者や車いすが円滑に通行できるよう	高齢者や車いすを利用する方々が円滑に通行できるよう	修正しました。
伊藤	（市民会議で掲げられた「狭い歩道の改善」を明記したほうがいいのではないか。） （液状化対策・道路など地盤強化も明記すべきと思う。） （市民会議で掲げられた「電線・電柱の地中化」も明記して欲しい）		原文のまま。 基本計画や実施計画での記述を検討します。
伊藤	（d. 「市民の住生活を～」とはどういうことを言いたいのか？）		
	<p>住生活基本法に基づいて作成された 国の「住生活基本計画」 県の「第 2 次千葉県住生活基本計画」 を踏まえて、市の計画を作成することです。</p> <p>基本の方針としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における居住環境の維持及び向上 ・ 居住の安定の確保のために必要な住宅の供給の促進等を謳い、住生活の向上を目指す。 		

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 1 1 第 2 章 第 3 節「自然と調和する環境づくりの推進」			
小池	谷津干潟は、重要な環境資源として保全・再生に努めるとともに、賢明な利用を図り、	谷津干潟は、重要な環境資源として保全・再生に努めるとともに、 適切な 利用を図り、	原文のまま。 「賢明な利用」はラムサール条約で定義されています。 (2005年 決議Ⅹ1 付属書A)
小池	街並みの緑の空間を保全することで、市民の暮らしに安らぎを与え、	街並みの なかの 緑の空間を保全することで、市民の暮らしに安らぎを 与える、	修正しました。
小池	有害化学物質等の対応に	有害化学物質等 へ の対応に	修正しました。
小池	環境保全活動を通じて	環境保全 の 活動を通じて	修正しました。
伊藤	(この第3節はこの章から外して、4つ目の目標に加わるのが適切ではないか。憲章を継続するまちづくりをするのであれば、むしろ1番目の重要目標にそえていいはずと思うが如何か。)		原文のまま。 環境の重要性は理解しており、軽んじてはいない。あくまでも、全体的な体系を考慮した中で、第2章に含めています。

P 1 2 第 3 章 前文			
小池	「未来をひらく教育の推進」に取り組み、習志野市の教育による自立した社会人の育成と	「未来をひらく教育の推進」に取り組み、 それらにより 自立した社会人の育成と	削除として修正しました。

P 1 2 第 3 章 第 1 節「子どもが健やかに育つ環境の整備」			
小池	子育て支援サービスの充実を推進します。	子育て支援サービスの充実を 図ります。	修正しました。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 1 3 第 3 章 第 2 節「未来をひらく教育の推進」			
鯨井	幼児教育のニーズが多様化しているなかで、	幼児教育のニーズが 多様化する なかで、	修正しました。
鯨井	他者と協調していく力を伸ばし	他者と 協調する 力を伸ばし	修正しました。
伊藤	（「b. 子供の健全な育成のため、～」は第 1 節への明記が適切ではないか。）		原文のまま。 子どもへの教育の一環として記述。第 2 節のままとします。
伊藤	（「c. 教育は人づくりであり、～」は抽象すぎて、何を伝えたいのかが分からない。）		教育を通し子どもは成長し、その子どもがまちづくりを担っていくということです。
伊藤	（将来都市像が「やさしさでつながるまち」であるならば、障がいのある人への理解の促進として、障がい者理解のための交流教育を明文化すべきと思う。）		原文のまま。 福祉的な観点は第 1 章で表現します。
伊藤	（いじめ、不登校対策の根本が違うのではないか。d. の後段「また、体験活動、学校行事の充実を～図ります。」とあるが、アンケート調査を的確に捉え、生徒が相談しやすい体制を整えますが、本来の姿ではないか。）		原文のまま。 いじめが起こってからの対症的方法ではなく、起こらないように、普段の学校生活を通していじめの根絶を目指していくことです。相談体制や対応策については次項 e での表現としています。
伊藤	（日本の伝統文化、偉人、日本史、神話といった自国の歴史と伝統文化を知る日本人としての誇りを持てる国際人の育成が明記させていないのが残念である。）		原文のまま。 第 4 節 d で表現しています。
伊藤	（宗教を理解することは重要なことである。明記されていないのは、不思議である。宗教教育の充実力を明文化すべきである。）		原文のまま。 基本構想の表現にはなじまないと考えます。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 1 3 第 3 章 第 3 節「生涯にわたる学びの推進」			
鯨井	市民が日常的に学習内容を深め、	（意味が解らない。別の表現があるのか？）	市民が日常的に学習することを指します。「日常的に学び」として修正しました。
小池	参加し創造する機会の充実を図ります。	参加し創造 <u>したり</u> する機会の充実を図ります。	修正しました。
小池	「見るスポーツ」「支えるスポーツ」を推進します。	「見るスポーツ」 <u>そして身近なチーム等を</u> 「支えるスポーツ」を推進します。	支えるスポーツとは、指導者や施設、活動するチームなど、スポーツの環境全般を整えることを指します。よって、「指導者を育成したり身近なチームを支える等スポーツ環境を整える」として修正しました。
小池	ジュニアから高齢者、障がい者など様々な分野、世代で	ジュニアから高齢者、障がい者 <u>ま</u> <u>で</u> など、様々な分野、世代で	原文のまま。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 1 4 第 3 章 第 4 節「互いを認め合い尊重し合う社会の推進」			
鯨井	互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、	互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、	修正しました。
小池	また、災害時・地域 ICT 利活用・市民協働・公民連携等、市民・事業者等と行政の連携を図ります。	また、災害時・地域 ICT 利活用・市民協働・公民連携等により、市民・事業者等と行政の連携を図ります。	第 3 章「心豊かなまち」にとどまる内容で無いため、自立的都市経営に移動し、全体的に修正しました。
小宮	b. 情報化、ICT 化の進む中において、～	（IT ネットワーク技術を積極的に活用したまちづくりを推進すべき。双方向テレビ通信、各団体を結んだ迅速な通信ネットワーク等活用方法はいろいろある。ネットワーク開発や教育、サポート等を大学と連携することも可能。）	第 3 章「心豊かなまち」にとどまる内容で無いため、自立的都市経営に移動し、全体的に修正しました。
鯨井	特に若い世代への平和啓発を促進し、	特に若い世代への平和意識の啓発を促進し、	修正しました。
伊藤	（障がい者への障害者基本計画の推進についての明記が無くて残念である。）		原文のまま。 福祉的な観点は第 1 章で表現します。

P 1 5 Ⅲ—2 自立的都市経営の推進			
小池	地域社会の希薄化	地域社会意識の希薄化	修正しました。
小池	雇用規模の変化	雇用規模の縮小	修正しました。
鯨井	多くの課題に直面することが予測されます。	多くの課題に直面しています。	修正しました。文言を追加しました。
小池	市民満足の向上を目指すとともに	市民の満足度の向上を目指すとともに、	「市民満足度の向上」として修正しました。

委員	該当箇所（修正前）	変更案・ご意見	修正対応
P 1 6 重点プロジェクト 1 公共施設の再生			
鯨井	公共施設再生への取り組みの目的は、	公共施設再生（ <u>削除</u> ）の目的は、	修正しました。

P 1 8 重点プロジェクト 3 協働型社会の構築			
小池	市民力の向上等	<u>市民活動の活発化</u> 等	市民力とは、「市民自らが課題を捉え、団体や行政と協働して解決をしていく力」と捉え、「市民自らが課題を解決する力の向上」と修正しました。
伊藤	（習志野市役所の経営の重点としては、協働型社会の構築ではなく、「志ある公務員・教員の人財育成」である。）		人材育成については自立的都市経営に記述しました。

全体			
細川	<p>わがまち習志野市はとっても住みやすいところだと私も思っております。習志野市はそんなに大都市でもないし、かといって、そんなに田舎でもない。そして首都圏でもあるので、東京に勤めに行くのにも1時間くらいで行くことができる。だから県内の人口密度が第3位というのも納得ができます。</p> <p>ご指摘のように、これからますます高齢化が来ます。私も外来の仕事をして本当に感じております。患者さんがおっしゃるのですが、特老の施設が欲しい（入所）、今でも何百人待ちとかとおっしゃっているので、それは私も痛切に感じております。</p> <p>また、それとは逆に老人の方は近くの小中学校の子どもたちの若々しい声が聞こえてくるととても心が明るくなるとおっしゃっています。</p> <p>ですから、若い世代の方にも人気が出て、この習志野市に住んでくださるようお願いしています。どんどん高層マンションも建っておりますのも良いと思っています。</p> <p>習志野市はご指摘どおり地区により特色があります。これからの12年間は日本中が少子高齢化が間違いなくやってきますでしょうから、この様に長期計画を審議していっていることは大変素晴らしいと思います。</p> <p>全部読ませて頂きましたが、市長さんはじめ、とても素晴らしい長期計画基本構想と感銘いたしました。</p>		